

2024年6月11日

各位

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
(コード番号 8306)

### 当社第19期定時株主総会の第3号議案に関するISS社レポートに対する当社見解について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表取締役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 当社）は、2024年6月27日開催予定の第19期定時株主総会の第3号議案「定款の一部変更の件（気候変動関連の事業リスク及び事業機会の効果的な管理のための取締役のコンピテンシー）」に関し、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services, Inc.（以下「ISS社」といいます。）が、賛成を推奨している旨のレポートを発行している事実を確認いたしました。

つきましては、下記の通り、ISS社の賛成推奨に対する当社の見解を記させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、当社定時株主総会招集ご通知及び下記の当社の見解をご確認いただき、当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. ISS社の賛成推奨内容

ISS社は、以下の理由で第3号議案に対して賛成推奨を行っております。

議案名	賛成推奨の理由
第3号議案 「定款の一部変更の件（気候変動関連の事業リスク及び事業機会の効果的な管理のための取締役のコンピテンシー）」	会社の現行の戦略がもたらす気候変動リスクやその他の環境への影響を考慮すると、社外取締役の選任や取締役会の評価において、気候変動のリスクと機会がどのように考慮されているか、情報を開示することは、MUFGの株主にとって価値がある

#### 2. 当社の見解

##### (1) 取締役会の構成

当社の取締役会の構成に対する考え方は、CG報告書【補充原則4-11-1】にて開示しております。気候変動問題等の社会課題解決をリードするために、気候変動を含む「サステナビリティ」の知見や専門性、経験を有する人材を配置することとしております。

#### <取締役会の構成に対する考え方>

##### 【補充原則4-11-1】

##### ■取締役会全体としての知識・経験・能力のバランス、多様性及び規模に関する考え方

当社の取締役会は、経営の基本方針を決定するとともに、経営監督機能を担っております。取締役会がその役割を適切に果たすために、当社グループの事業に関する深い知見を備えるとともに、金融、財務会計、リスク管理、法令遵守等に関する多様な幅広い知見・専門性や多様性を備えた、全体として適切なバランスの取れた構成が必要です。具体的には次の通りです。

・独立社外取締役は、企業経営、金融、財務会計、法律等の分野で高い見識や豊富な経験を有し、独立した客観的な立場から経営陣の職務執行を監督する資質を有していること

・執行を兼務する取締役は、当社グループの事業に精通し、当社グループの経営管理を適切に遂行する能力を有していること

・さらに、取締役会全体として、当社事業展開に鑑みた「グローバル」、およびデジタルシフトや気候変動問題等の社会課題解決をリードするために「IT・デジタル」「サステナビリティ」に関する経験を有する人材を配置していること

(出所) CG報告書 [https://www.mufig.jp/dam/profile/governance/report/pdf/report\\_ja.pdf](https://www.mufig.jp/dam/profile/governance/report/pdf/report_ja.pdf)

(2) 取締役のコンピテンシー

取締役候補者 16 名のうち 11 名（うち、社外取締役候補者 6 名）は、気候変動を含む「サステナビリティ」に関するコンピテンシーを有しております。また、定期的な勉強会やタイムリーな情報提供等を通じて、取締役会のコンピテンシー向上に取り組んでおります。

<社外取締役及び新任社外取締役候補者の知見・専門性、経験>



**本田 桂子氏**

- ・マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・日本支社に勤務後、世界銀行グループの機関である多数国間投資保証機関長官CEOを歴任
- ・この間培った金融・経済に関する専門的な知見を有す
- ・加えて、ESG投資について大学院で教授するなど、サステナビリティの分野での豊富な経験を有す



**加藤 稟氏**

- ・株式会社NTTドコモ代表取締役社長、取締役相談役等を歴任
- ・経営者としての高い識見を有し、サステナビリティ経営を積極的に推進
- ・加えて、通信及びデジタル領域等の分野での豊富な経験を有す



**桑原 聡子氏**

- ・弁護士としての豊富な経験と法務全般に関する専門的な知見を有す
- ・加えて、経済産業省総合資源エネルギー調査会の委員を歴任する等、サステナビリティの分野での豊富な経験を有す



**野本 弘文氏**

- ・東京急行電鉄株式会社（現東急株式会社）代表取締役社長等を歴任
- ・経営者としての高い識見を有し、サステナビリティ経営を積極的に推進
- ・加えて、不動産、生活サービス、IT・デジタルテクノロジー等の分野での豊富な経験を有す



**新任社外取締役候補者  
清水 博氏**

- ・日本生命保険相互会社取締役専務執行役員（資産運用部門統括、財務企画部担当）等を歴任
- ・現在、同社代表取締役社長を務め、経営者としての高い識見を有し、サステナビリティ経営を積極的に推進
- ・加えて、金融に関する専門的な知見、IT・デジタルテクノロジー等の分野での豊富な経験を有す



**新任社外取締役候補者  
マリ・エルカ・バンゲストツ氏**

- ・インドネシア国貿易相、観光・創造経済相、世界銀行専務理事（開発経済総局等を担当）を歴任
- ・金融・経済・公共政策に関する専門的な知見と、国際機関、政府での幅広い業務経験を活かしたグローバルな社会課題への対応等、サステナビリティの分野での豊富な経験を有す

<社外アドバイザー>

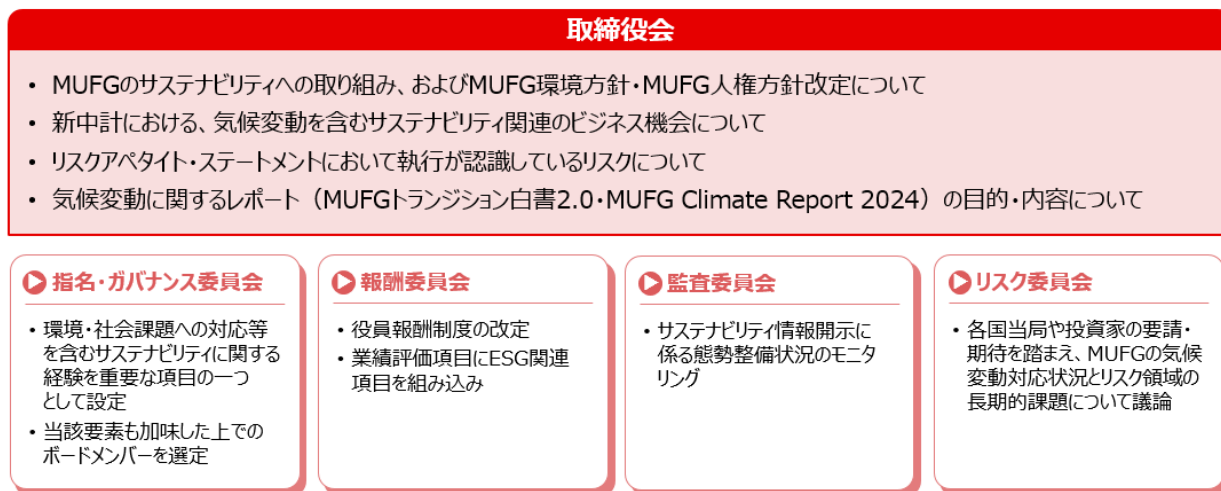
社外アドバイザーと経営メンバーとの意見交換会を定期的実施し、社外の専門的な知見を活用しております。

玉木 林太郎氏	公益財団法人国際金融情報センター理事長。元財務官。OECD 事務次長として環境・金融分野を担当した経歴あり、国際経済・国際金融に広く知見を持つ
枝廣 淳子氏	大学院大学至善館教授。政府のハイレベル懇談会等のボードメンバーを務めた実績あり、気候変動に加え、生物多様性や地方創生など社会分野にも広く知見を有する
夫馬 賢治氏	株式会社ニューラルの代表取締役 CEO。サステナビリティ経営・ESG 投資アドバイザーのコンサル経験を踏まえた、企業実務に則した知見を有する

### (3) 取締役会による監督

気候変動を含めた「サステナビリティ」を取締役会の重要審議事項に設定し、気候変動関連の事業機会やリスクを含む執行の取り組みにつき、定期的に審議しております。取締役会での複数回にわたる議論を経て策定された新中期経営計画では、「社会課題の解決」を3本柱のひとつに位置づけ、カーボンニュートラル社会の実現を、サステナビリティ経営において優先的に取り組むべき最重要課題のひとつに設定しております。

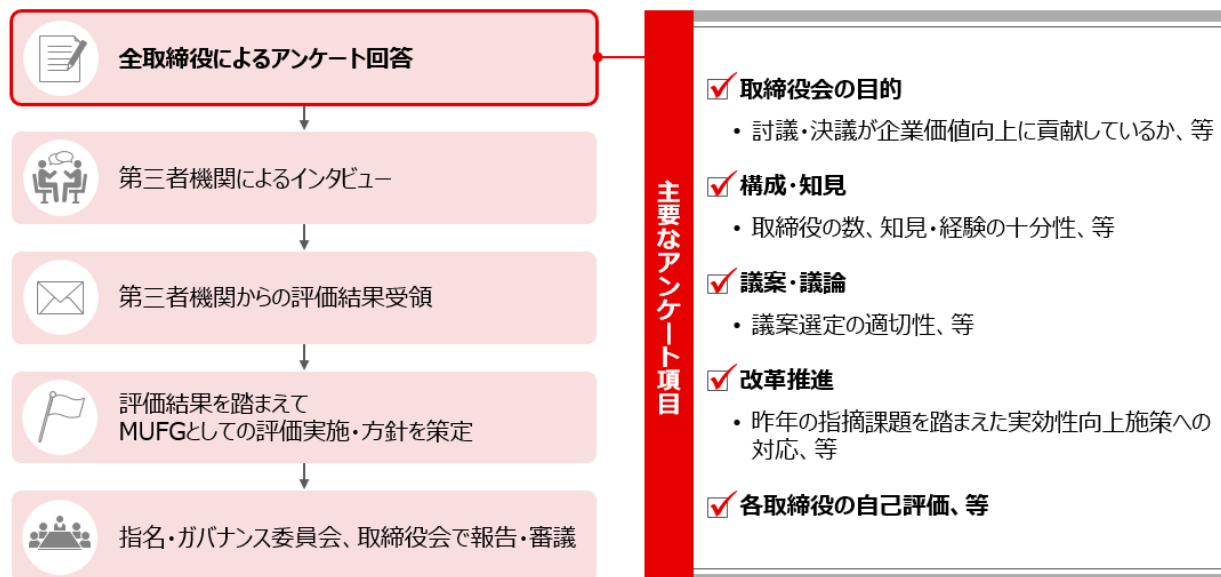
### <取締役会・傘下委員会におけるサステナビリティ議案（2023年度）>



### (4) 取締役会評価

当社では、2013年より毎年、第三者機関を活用し、取締役会評価を行っております。取締役全員を対象に、取締役会の目的、構成と知見、議案と議論、改革推進や、各取締役の自己評価についてのアンケートとインタビューを実施し、これらに基づく、第三者機関の評価結果を指名・ガバナンス委員会及び取締役会において報告、審議しています。2023年度においても、サステナビリティなどの重要議案を含め、モニタリングが有効に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることが確認されました。

### <取締役会評価の流れ>



## <2023 年度の取締役会実効性評価結果>

### 評価

- 取締役間の率直なコミュニケーションが活性化・相互理解が進み、取締役会の実効性を高める地合いが醸成された
- 議論の質が向上し、次期中期経営計画の策定やサステナビリティ等の重要議案を含め、モニタリングが有効に機能した
- 社外取締役との意見交換会の拡充や議案説明の工夫等の各種取り組みの結果、現時点で十分に高い実効性を確保できていることが確認された

### 課題

- 取締役会の機能の更なる高度化に向けた、継続的改善（運営、体制、効率化等）

### 取締役会で議論された主な議題

中期経営計画の 主要戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2024年度版中期経営計画策定</li> <li>• サステナビリティ経営の推進</li> <li>• MUFG Climate Report 2024</li> <li>• 企業カルチャー改革の進捗</li> <li>• デジタルトランスフォーメーション戦略</li> <li>• ウェルスマネジメント</li> <li>• アジアビジネス</li> <li>• 資産運用ビジネス（グローバルAM/IS）</li> <li>• モルガン・スタンレーとの提携強化</li> </ul>
財務関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2023年度経営計画進捗</li> <li>• 業績目標および資本政策</li> <li>• 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応</li> </ul>
ガバナンス関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CRO、CCO等の各C-Suitesからのレポート</li> <li>• 足元のリスク認識、リスク領域の取り組み</li> <li>• 行動規範、コンプライアンス領域の取り組み</li> <li>• 政策保有株式に関する対応</li> <li>• 取締役会実効性評価</li> </ul>

MUFG の気候変動への取り組みおよび株主提案に対する見解の詳細につきましては、以下のウェブサイトよりご確認いただくことが可能です。

#### ●MUFG の気候変動への取り組みおよび株主提案に対する見解

- プレゼンテーション資料

[https://www.mufig.jp/dam/ir/presentation/2024/pdf/slides2405\\_ja.pdf](https://www.mufig.jp/dam/ir/presentation/2024/pdf/slides2405_ja.pdf)

- 動画配信

<https://c-hotline.net/Viewer/Default/450146488051a415c08eac4dfbd8f133b86b>

株主の皆さまにおかれましては、当社定時株主総会招集ご通知及び上記の当社の見解をご確認いただき、当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上